



スゴイ横断幕を作ってくれました



講話風景 (ANAコンチネンタルホテル)



講話後の朝食会でご挨拶



浮田会長より感謝状を頂く

じよじよんのお楽しみ日記 88

「倫理法人会」の巻

皆さんは「倫理法人会」をご存知でしょうか。現在、県下で十八単会、千五百余社の会員がいます。昭和二十年、丸山敏雄が倫理運動を開始し昭和五十一年に法人の会として「倫理法人会」が誕生しました。

愛媛県では(株)一六の玉置一郎さんが船井総研の勉強会で友人に勧められて、昭和六十二年に五十数社で発足、私もご縁あつて当初から参加させて頂いております。

当時は一ヶ月に一回(現在は毎週)開催され、本部からの講師や事業に成功した方のお話を聞くことが出来ました。

平成十一年に一宮グループ代表の一宮能和さんが入会され県下全域に普及することになり私も新設の松山中央倫理法人会の初代会長に就任しました。

あれから二十一年、週一回のモーニングセミナーも一千回を迎えることになり、記念セミナーの講話者に指名頂き、人生最後(?)のお話をさせて頂きました。

題目は「私の歩んだ人生」で小学生の頃に商売人になろうと思ったことやその為には松商へ行くこと等々、そして高校を卒業して伊予商運株)に入社(関西汽船松山営業所)わずか三ヶ月の間に頂いた「人生の宝物」

- 一 お金の大切さ(一円でもごまかしたらすぐ分かるゾ)
- 一 仕事が出来てナンボ(給料は働いた中から貰うもの)
- 一 お客様は神様(お客様は間違っても正しい)

この「三つの宝物」を大切に旅行業人生を五十八年間歩んで来ることが出来ました。人生の出発点で頂いたことは本当にラッキーだったと思います。最後に私のモットーは「人生は真面目さとユーモアが大切」です。やっぱり一番は真面目であることだと思えますしユーモアという調味料も必要ではないでしょうか。



中村剛志